

館山市観光協会（上條長永会長）と南房総市観光協会（清宮信英会長）は、2市が共通課題の解決に連携して取り組む「館山市・南房総市定住自立圏」の形成

観光で「稼ぐ地域」になる。

南房総・館山が共に目指す「観光地経営」。

地域の声、大切に。

観光施策に向けて

地域DMO候補法人である一般社団法人南房総市観光協会では、先般「南房総観光の現在地」を知るために、市民アンケートを実施しました。これは、観光地域づくりを進める上で、観光客の受け入れに関する地域の皆様の意識調査、ひいては、これからの観光戦略にどのように活かしていくかを検討するためです。

頂いた市民アンケートからは、観光振興が重要だと言う方々が8割程度を占め、観光の重要性については認識いただいているようです。ただし、観光産業以外の方が観光従事者と接する機会の少なさや観光施策についての認知度の低さもわかりました。それでも、観光に期待、観光振興に想いを持ってもらえる声が多く、市民が活躍できる観光のステージが必要であると感じる結果でした。



観光でまよを死観に！
QRコード
南房総市観光協会ウェブサイトより、今の観光の取り組みがわかります。

協定（令和2年7月締結）をきっかけに、両市の観光協会で令和3年5月から協議を重ね、手を携えて観光振興に取り組んでいる。

法人を選定しました。

「先駆的DMO」Aタイプ

・田辺市熊野ツーリズムビューロー
（和歌山県田辺市）

・京都市観光協会（京都府京都市）

「先駆的DMO」Bタイプ

・下呂温泉観光協会（岐阜県下呂市）

これは、世界に通じる持続可能な観光地域づくりのモデルとなる地域を指し、観光庁がさらに伴走支援を行っている3つの法人です。

観光による受益が広く地域に行き渡り地域全体の活性化を図っていることや持続的な組織体であることが評価されているもので、エリア全体で取り組む姿勢やデータ収集分析・戦略策定、実施の仕組みなどを守りかつ持っていること、などです。

この3つのエリアは、地域をあげて、観光戦略実施への体制、理解を進め、地域で稼ぐことに挑戦をすることを求められているのです。（南房総市観光協会は、令和6年中に地域DMOの本法人登録の申請を進めています）

観光地経営に

どう取り組むのか？

観光地経営に本格的に取り組む地域のDMOは、①既存組織では達成できない目標を有している②首長や商工会議所の会頭等の高いレベルでの合意形成が出来る③正しく、速やかな意思決定が出来る④人的資本がある⑤中長期で安定した財源がある、この5つのミッションを確実に実行している組織として役割を果たしていく必要があるという。

令和6年2月に当地では、じゃらんりサーチセンターのセンター長「沢登次彦」氏をお迎えして、このような地域観光に取り組む組織論、財源について、各地の事例など多岐にわたる観光のお話をいただく講演会を予定しています。

観光客に、お友達に！
ぜひ、「観光情報」を受け取る「LINE会員」
おすすめしてください。

LINE会員向け、グルメラリー開催!!

館山寄り海鮮丼 200P	蟹アジ(はたけ) 200P	全てやま海産カレー 200P	いちごスイート 100P
--------------	---------------	----------------	--------------

それぞれの会員を統合して、「南房総・館山のファン」に共同で情報発信。観光LINEを一化!



※ランディングページのイメージです

南房総・館山 共同で情報発信

LINEで 友だちになろう! enjoy-boso



たてやまファンクラブ



公式Instagram tateyamatrip



一般社団法人館山市観光協会

◆観光案内所 (JR館山駅東口) 〒294-0045 館山市北条1879-2 ☎0470-22-2000 館山市観光協会

検索

「公式」南房総市 YouTube 観光協会ちゃんねる



公式Instagram enjoyboso



一般社団法人南房総市観光協会

◆南房総市観光インフォメーションセンター 〒299-2403 南房総市富浦町原岡89-3 ☎0470-28-5307 南房総市観光協会

検索

今、観光はどのような道へ。

日本の観光地は今、どのような取組を目指すべきなのでしょうか？

今年度、観光庁では各地で活躍するDMOのなかで、「先駆的DMO」として3

地域全体に、観光振興の重要性を伝える必要があります。地域の皆様にもっと観光についての「今」をお知らせしてまいります。